

Conservation
of energy
for environment
that SHINTEN
think about!

工場・作業場・ご家庭からの油の流出事故が増えています。



すこやかで快適な環境を守るため 万一のオイル流出事故の備えに

オイルワイパー

NETIS 登録番号 HR-100002-A

特許出願
申請中

® O I L W I P E R

「オイルワイパー」は、
接触した瞬間に
素早く油を吸着する
『もみがら炭オイル吸着材』です。



静電気防止対策品

もみがら炭

オイルの流出被害を最小限に抑えるには、

現場に、より近いところで食い止めることが原則です。

後になればなるほど、回収が難しくなるばかりでなく膨大なコストもかかります。

「オイルワイパー」は、流出初期段階での回収を目的として開発され、
オイルを扱う多くの現場の備えとなるべく、低価格を実現しました。

オイルワイパーの特長

驚きの
接触瞬間
吸 着

水をはじき
オイルのみ
吸 着

高い浮力で
水面でも
効果を持続

未開封で
長期保存
可 能

製品同士
の
連結可能

静電気
防止
対策品

国土交通省
NETIS
登録商品
登録No. HR-100002-A

Made in 新潟
新技術普及制度
登録商品
登録No. 23D1006

オイル吸着実験 Oil adsorption experiment



『オイルワイパー』は、
投入直後にA重油のみを
素早く吸着し、その後も水面に
浮いているのが解ります。

浮力比較実験 Buoyancy comparison experiment

それぞれ含水率の違うもみから炭を、水に浮かべ、その浮力を比較しました。



上の実験から、低含水率なほど撥水性に優れ、浮力が高いことが解ります。『オイルワイパー』は、長時間浮き続け、水面の油を吸着し続けることが可能です。

DATA

もみから炭を拡大して見ると…



もみから炭には無数の細孔があることがわかる。
この細孔により表面積が大きくなり、油膜層との接触面積が増える。
さらに接触した油膜層が細孔に入り込み、内部まで浸透していく。

水面の油を吸着させるためには、低含水率の油吸着材を使用することが絶対条件です。

仕様と使い方 The specification and How to use

『オイルワイパー』は、酸素を遮断した保存袋に封入してあるので長期保存が可能です。
オイルを使用する場所に小分けに保管し、万々に備えることをお勧めします。



リング付で連結が可能。
川での使用の際はロープを通して
万国旗型にすると効果的です。

⑧ **オイルワイパー**

もみから炭	原料	表面	油吸着量	対荷重 (リング1本あたり)
2型	低含水率もみから炭	不織布	約1g	3kg以上
4型			約2g	



川での使用例



ふきとりの場合



U字溝での使用例



もみから炭を直接散布し回収
(水面上の希薄な油膜の吸着に最適です)

取扱店

日本交通興業株式会社



〒937-0811
富山県魚津市三田480番地1
TEL 0765-23-0700
FAX 0765-23-0401
URL: //www.jte-k.co.jp

オイルワイパー

用途 河川などの油流出事故や工場の床、排水溝、道路などでの油漏れに対して素早く油のみを吸着いたします。

材質 「モミガラ」の処理は米どころの共通の悩みになっております。その「モミガラ」を自社開発した炭化プラントによって特殊処理したモミガラで油のみを吸着する、自然にも環境にもやさしいリサイクル商品です。

使用法 河川などの油流出時にはオイルフェンスとして使用します。また工場、排水溝、道路などでは、そのまま使用したり4分割して使用いたします。またロードワイパー同様直接散布しても威力を発揮いたします。

日本消防設備安全センター推奨品

オイルワイパーは消防防災分野において、消防防災業務又は災害現場の利便性、効率性又は安全性の向上に寄与する優良な製品として「(財)日本消防設備安全センター」から唯一推奨をいただいております。

メリット

- * 全国の消防機関にオイルワイパー、ロードワイパーは消防防災センターより各機関誌ホームページ等に情報提供してあるので販売しやすい。
消防設備安全センター推奨品
軽量で持ち運びに便利

別紙参照

国土交通省認定品（公共工事における新技術活用システム）通称 NETIS

民間業者等により開発された有用な新技術を公共工事等に積極的に活用していくためのシステムです。

別紙参照

メリット

- * 公共工事では工事完成後に工事の出来ばえを100点満点で評価いたします。評価された実績は評価情報へ登録され各機関(ネット配信)等に公表されます。NETISの登録商品を活用することにより評価点に1点～2点が加算されるシステムです。オイルワイパー、ロードワイパーは油吸着材で唯一のNETIS登録商品です。

静電気 事故現場ではガソリンなどの揮発性ガス濃度が高くなっている可能性があり、処理作業に使用する資材から発生する静電気による引火の恐れがあります。
 オイルワイパーの素材のモミガラ炭は静電気を帯電することは無く、酸素バリアナイロン製の保存袋にも静電気防止加工を施してあり安全です。

軽量 オイルワイパー(モミガラ炭)は、かさ比重が0.08と極めて小さく、取り扱いがとても楽です。
 例えば10Lのガソリンを処理するのに必要なモミガラ炭の量は、余裕を見ても20L(10袋)ですがその重量は僅か1.3Kgにすぎません。

保存性 オイルワイパーは、極めて低い含水率に製造されたモミガラ炭をそのまま酸素バリア袋に詰め、袋内に脱酸素材、乾燥剤を入れて密封してあります。
 開閉しない状態であれば、3年間は性能を低下することなく安心してお使いいただけます。

包装 オイルワイパーは酸素バリアナイロン製の袋に1枚に製品2枚を入れて(2枚1組)1箱に5袋10枚入りで梱包されています。

性能 化繊・天然系と活性炭系の吸着比較を行なった結果は下記の通りです。

	孔径	初期吸着量 g/g	保持能力 %	含水率変化		油膜の 吸着	脱臭
				水面上	水蒸気		
化繊系	200~	10g	50%	増加	ほとんど変化なし	×	×
天然系	600um		×				
活性炭系	03~ 30um	5g	90% ○	増加	変化量が多い	○	○

↓
 もみがら炭は計測の結果1.4um~4.6um

*吸着した油を保持するか、放出するかは、孔径が50umあたりからと考えられる。

保存について ダンボール箱に入れて保存してください。

使用後について 多量の場合は産廃扱いとなります。近くの焼却場に持ち込んで焼却処分してください。
 少量の場合は家庭の可燃ゴミとして市町村指定のゴミ袋でゴミステーションに出して下さい。